



Hiroshima City University Language Center

広島市立大学語学センター
Newsletter No.61 (2019.1.22)



語学センター廊下ギャラリー

「市大で出会えるアフリカ」展を開催



アフリカに興味を惹かれたら、先生たちの講義に行ってみよう！

国際学部には、毎年のようにアフリカを訪れて調査をしている先生が何人もいることをご存じですか？

国際学部の有志である田川先生、古澤先生、目黒先生が、アフリカに出会える企画写真展を語学センター廊下ギャラリーで開催されました。(第1部 2018年10月15日～11月7日、第2部 11月7日～11月16日。)

合計39枚の展示写真の中から、各先生の写真2枚ずつと解説を、目黒先生のとりにまとめご紹介いたします。

目次：

「市大で出会えるアフリカ」展
多様で面白い！アフリカを知ろう

国際学部	田川玄先生	1
国際学部	古澤嘉朗先生	2
国際学部	目黒紀夫先生	2
2018年度	短期語学留学 実施報告	3
国際学部	井上泰浩先生 (ハワイ大学マノア校)	
国際学部	大場静枝先生 (オルレアン大学)	
国際学部	藤原優美先生 (西南大学)	
国際学部	齋藤祥平先生 (モスクワ大学)	
後期	いちだい知のトライアスロン映画上映会	4
2019年度	短期語学留学参加者募集開始	4
夏季休暇	2つの新しいプログラムが登場	4

多様で面白い！アフリカを知ろう

国際学部講師 目黒紀夫

日本の約80倍の広さを誇るアフリカ大陸は、さまざまな自然や文化、歴史を持ち、今日の国際社会において重要な位置を占めてもいます。そんなアフリカ大陸で、現地の人や暮らし、社会を調べている教員が国際学部にはいます。アフリカの多様さと面白さを少しでも知ってもらいたいと思い、今回写真展を企画しました。

【国際学部 田川玄 教授】



花嫁を迎えに出発する花婿(奥)と付き添い(手前)



花嫁の集落が遠いので三輪タクシーを使って迎えに行きます

この二枚の写真は、2014年にエチオピア南部の牧畜民社会ボラナの結婚式の一部を撮影したものです。ボラナの最近の結婚は、花嫁の親に許可なく結婚する「駆け落ち婚」が主流です。夜の闇に紛れて花婿はこっそりと花嫁を自分の集落に連れ出し、一連の儀式を済ませてから、使いが花嫁の家族に結婚の事実を伝えるという手順です。翌朝、「激怒した」花嫁の親族が彼女を取り返しに押しかけてきますが、花婿側は彼らを丁重にもてなして結婚を認めてもらいます。「駆け落ち婚」は個人の自由な恋愛の帰結ではありません。その増加は、ボラナ社会のジェンダーとセクシュアリティ、家父長制と政治経済構造の変化と関連して理解する必要があります。

【国際学部 古澤嘉朗 准教授】



アスカリ・モニュメント



ザンジバル・ドア

タンザニアにあるアスカリ・モニュメントは、第一次世界大戦時にアフリカ戦線で植民地宗主国のイギリス軍に従事した「アスカリ」と呼ばれたアフリカ兵士の銅像です。また、タンザニアのザンジバル島は19世紀に香辛料・象牙・奴隷貿易の中継港として栄えアラブやインドから商人が移住し、文化的に影響を受けたことにより独特の木彫ドアの伝統が発達しました。アスカリ・モニュメントやザンジバル・ドアから垣間みえてくるのは、植民地や交易といった形でアフリカ大陸外の力学がこれまでも「アフリカ」の歩みに影響を与えてきたという事実であり、そしてそれは現在にも当てはまります。「アフリカ」を理解するには、その取り巻く環境にも目を向ける必要があるということです。

【国際学部 目黒紀夫 講師】



「写真！」



ケニア人はビジネスがお好き？

わたしはケニア南部に暮らす牧畜民マサイの人たちの暮らしについて、十数年前から調査をしています。そして最近では、学生と一緒にケニアに行くようにもなりました。今回の写真展では、いかにも伝統的な姿のマサイだけでなく、それとは逆にもすごく西洋的な装いの写真も展示しました。とはいえ、ここに載せた2枚の写真がまさにそうなのですが、一番に学生に伝えたかったのは、「アフリカ（の人と仲良くなること）は楽しい」ということです。もちろん、それなりにお金と準備が必要だけれども、アフリカは決して、「行ってはいけない」場所でもなければ「行っても何も得られない」場所でもないのです。ぜひ、アフリカに来てみてください！

2018 年度 短期語学留学 実施報告

夏季休暇中に短期語学留学が実施されました。短期語学留学は教員が引率をし、受入大学での語学集中講義のほか、歴史・文化研修などからなるプログラムを実施しています。2018年度は4大学でのプログラムを実施し、合計37名が参加しました。

ハワイ大学 マノア校

実施期間 : 2018年9月2日～9月16日
 参加人数 : 15名 [学部] 国際13名、情報2名
 [学年] 1年9名、2年5名、4年1名
 滞在方法 : ホームステイ
 単位認定 : 国際研究特講Ⅰ (2単位)

◆担当教員より◆ 国際学部教授 井上泰浩

今年のプログラムでは、アリゾナ記念館で初めて行った「Sadako project」という、ハワイとヒロシマをつなぐ平和ボランティア活動に学生が携わったことが大きな成果でした。広島とルーツのある広島県人会との交流も初めての試みでしたが、移民の歴史について学ぶことができたことも、学生にとって有意義な時間だったと思います。語学習得だけでなく、プラスαのプログラムで、これからは学生たちには貴重な体験をしてもらいたいと思います。



オルレアン大学

実施期間 : 2018年8月24日～9月24日
 参加人数 : 9名 [学部] 国際8名、情報1名
 [学年] 2年9名
 滞在方法 : ホームステイ
 単位認定 : 国際研究特講Ⅰ及びⅡ (4単位)

◆担当教員より◆ 国際学部准教授 大場静枝

4週間にわたって、ホームステイをしながら生きたフランス語を学びました。授業はフランス語の文法や会話、文化論、身体を使った演劇など盛りだくさんの内容でした。スタディ・トリップでは、モンサンミッシェルやロワール川流域の古城の見学をして、フランスの歴史と文化を学びました。週末の自由時間には、お友だちとパリに遊びに行ったり、ファミリーと一緒に近隣のお城を訪ねたり、フランス料理を食べに行ったり、みんなフランス生活を満喫しました。



* 引率教員 : (前半) 大場静枝准教授
 (後半) マイケル・ゴーマン准教授

西南大学

実施期間 : 2018年9月6日～9月27日
 参加人数 : 5名 [学部] 国際5名
 [学年] 1年1名、2年4名
 滞在方法 : 西南大学宿舎
 単位認定 : 国際交流演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳのうち
 いずれか (2単位)

◆担当教員より◆ 国際学部講師 藤原優美

今回の中国への短期語学留学に、計5名の学生が参加しました。平日の授業では語学だけでなく中国の文化などについても学び、週末は日本語学科の学生たちと出かけて、中国独特な風土・人情及び歴史に触れ、楽しみ、勉強になったようです。そこで得られたものを今後の勉学にいかし、中国の良き理解者になってくれることを期待しています。



モスクワ大学

実施期間 : 2018年8月5日～8月19日
 参加人数 : 8名 [学部] 国際6名、情報1名、芸術1名
 [学年] 2年6名、3年2名
 滞在方法 : モスクワ大学寮
 単位認定 : 国際研究特講Ⅰ (2単位)

◆担当教員より◆ 国際学部講師 斎藤祥平

モスクワ大学ロシア語・文化研究所への短期語学留学プログラムに参加しました。学生たちは、それぞれのレベルに合ったクラスでロシア語の授業を受け、課外活動として世界各国からの留学生と一緒に歴史・文化遺産や美術館などを見学し、ロシアの歴史や文化への理解を深めました。また、TOTOモスクワ事務所を訪問し、ロシアでのビジネスについて貴重なお話を伺いました。





2018 年度後期 いちだい知のトライアスロン映画上映会開催



テーマ MUSIC

12月3日(月)～12月7日(金)に、語学センターにて、いちだい知のトライアスロン映画上映会を開催しました。国際学部のゴーマン先生にご協力いただき、国際学部専門科目「言語・コミュニケーション研究入門」との連携企画で行いました。ゴーマン先生に映画を推薦していただき、7本の作品を日替わりで上映しました。来年度も上映会の開催を予定しています。掲示やHPでご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

テーマ : MUSIC

上映映画 : 「はじまりのうた」「ドリームガールズ」
「ロッキー・ホラー・ショー」「ONCE ダブリンの街角で」
「アンコール」「ジェームス・ブラウン」

*番外編 : 「いまを生きる」
(国際学部講義「言語・コミュニケーション研究入門」で使用)



● 2019 年度 短期語学留学参加者募集を開始しました

来年度、夏季休暇中に実施予定の短期語学留学の募集を開始しました。募集切は以下のとおりですので、申込み希望者は、語学センター自習室カウンターまで来てください。詳細は、掲示や大学HPを見てください。

オルレアン大学 2月15日(金)
ハワイ大学 5月10日(金)
西南大学 5月31日(金)

* 2019年度は、モスクワ大学
短期語学留学の実施はありません。



● 夏季休暇、2つの新しい課外プログラムが登場

今年度、夏季休暇期間中に、4つの課外プログラムを実施しました。

毎年実施している「夏休み課外インテンシブ英語学習プログラム」に、冬季休暇中に実施していた「いちだい知のトライアスロン英語多読マラソン」、更に、「アプリを利用した英語の発音発話トレーニング」と「Skypeを利用したオンライン英会話」の2つが加わりました。

長期休暇中に学習して、英語力を伸ばしたいという意欲的な学生の皆さんが受講し、それぞれに自分の選んだプログラムを楽しむことができました。来年度もご期待ください。

	夏休み課外インテンシブ 英語学習プログラム	いちだい知のトライアスロン Summer 英語多読マラソン	アプリを利用した 英語の発音・発話トレーニング	Skypeを利用した オンライン英会話
内容	「CALL 英語集中」「eラーニング英語」と同様の内容で1ヶ月に圧縮したプログラム。	図書館に配架されている英語多読用ペーパーバックを楽しみながらたくさん読み、感想レポートを提出する。	反復練習で「発音・発話」を強化できるアプリで、スピーキングのトレーニングを行う。	毎日25分間、オンラインでフィリピン人の講師とマンツーマンのレッスンを行う。
説明会	7月30日(月) 12:20～12:55 403A			
募集期間	7月2日(月)～8月16日(木)	7月30日(月)～	7月30日(月)～8月24日(金)	7月30日(月)～8月15日(水)
受講者	29人	4人	19人	10人
実施期間	9月1日(土)～9月30日(日)	8月1日(水)～9月30日(日)	9月1日(土)～9月30日(日)	9月1日(土)～9月30日(日)
参加費	無料	無料	無料	6,284円

● 視察・オープンキャンパス等報告

11月15日 三次市立三次中学校 (64名)

12月10日 国連平和大学【コスタリカ】学長

発行日	2019年1月22日	Phone	(082)830-1509
発行	広島市立大学語学センター 〒731-3194	Fax	(082)830-1794
編集	広島市安佐南区大塚東3-4-1 堀本真由美、沖野佳代(内線:6410)	E-mail	lang@m.hiroshima-cu.ac.jp
		ホームページ	https://call.lang.hiroshima-cu.ac.jp/lang/index.html